# AWS CLI 設定手順

## AWS Command Line Interface (AWS CLI) のインストール

### テキストP32のとおり、AWS CLIをインストールする。 コマンドプロンプト画面はそのまま開いておくこと。

## AWS Learner Labの起動方法

### AWS Academyにログインします https://www.awsacademy.com/LMS\_Login

### Learner Lab Foundation ServicesからModules→Learner Lab – Foundational Servicesを選択します。

### Start Labをクリックし、しばらく待ってから「AWS Details」をクリックします。 ※Labの準備が出来るまで待機してください。数分かかります。

## AWS Command Line Interface (AWS CLI) の設定値を確認する

### AWS Details メニューの中のAWS CLI：「Show」ボタンをクリックする。

### AWS CLIの内容をすべてコピーし、メモ帳に張り付けておく。

### コマンドプロンプトを開き、テキストP34のように「aws configure」を実行する。 AWS Access Key ID [None]:「aws\_access\_key\_id=」の右側の値をペーストしエンター AWS Secret Access Key ID [None]:「aws\_secret\_access\_key=」の右側の値をペーストしエンター Default region name [None]: us-east-1 と入力しエンター Default output format [None]:json と入力しエンター ※ 以下は実行例。以下の通り入力しても実行でないので、必ずLeaner LabのAWS Detailsの値を使用すること。

### AWS CLIの設定ファイルに上書きする 以下のフォルダの「credentials」ファイルをメモ帳で開く Cドライブ→ユーザ→自分がサインインしているユーザ名のフォルダ→.awsフォルダ内「credentials」 ※ファイルの削除・名前の変更は絶対しないこと！

### Leaner Labからコピーした内容をすべて「credentials」ファイル内に上書きし、保存する。 ※記載されていたデータに上書きしてよい。

### 再びコマンドプロンプト画面を表示し、以下のコマンドをペーストする。テキストP35の内容 コマンド： aws translate translate-text --source-language-code en --target-language-code ja --text hello この画面が表示されていたら、正しくAWSのサービスが利用できる状態が設定できている。

## BOTO3のインストール

### テキストP36の内容どおり、BOTO3をインストールする

* Leaner Labを再起動すると、aws\_access\_key\_idなどの値が変更されます。Leaner Lab起動時は毎回AWS Detailsの中に記載されている値を「credentials」ファイルに上書きしてください。
* aws configure の実行、AWS CLI、BOTO3のインストールは最初の一回のみ行います。